

「放送人の証言」アーカイブプロジェクト スタート

iU 情報経営イノベーション専門職大学（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）と一般社団法人放送人の会（東京都千代田区、会長 今野 勉、<http://www.hosojin.jp/index.html>）は、日本の放送メディア・文化に携わり、日本の放送・映像文化の確立に多大なる功績を残してきた先人たちの生の声を後世に残し、これからのメディア文化の礎とすべく、アーカイブ化事業を立ち上げ、公開手法・検証等の共同研究を行います。



iU



B Lab



■本プロジェクトについて

- ・大山勝美氏、澤田隆治氏をはじめとする総勢 200 名強の放送・映像界に多大なる功績を残した方々のインタビュー映像をデジタルで編集・蓄積する
- ・第一弾として大山勝美氏、澤田隆治氏を含む約 30 名のインタビュー映像を編集し、You Tube で公開する
- ・併せて書き起こした文字ファイルを Kindle で公開する
- ・編集及び公開工程を通じ、その後の公開・利用法を含め、メディア文化に資するための課題を検証・研究する

放送人の証言 主な証言者（アイウエオ順）

相田 洋	ドキュメンタリー制作者
石井 ふく子	ドラマプロデューサー
磯村 尚徳	ジャーナリスト キャスター
大山 勝美	ドラマプロデューサー 演出家
岡田 太郎	ドラマ演出家
岡本 愛彦	ドラマプロデューサー 演出家
田 英夫	ジャーナリスト キャスター
露木 茂	アナウンサー
加賀美 幸子	アナウンサー
兼高 かおる	旅行作家
亀淵 昭信	ラジオキャスター
鴨下 信一	ドラマ演出家
川口 幹夫	NHK 会長
熊沢 敦	ラジオプロデューサー ディレクター
今野 勉	テレビディレクター
澤田 隆治	お笑い番組プロデューサー
重延 浩	プロデューサー 制作会社経営者
鈴木 健二	アナウンサー 司会者
田原総一郎	ジャーナリスト 司会者
橋本 佳子	ドキュメンタリー制作者
秦 豊	ジャーナリスト
日枝 久	放送局経営者
藤倉 修一	アナウンサー 司会者
堀川 とんこう	ドラマ演出家
村野 賢哉	科学番組解説者
山川 静夫	アナウンサー
山田 良明	ドラマ演出家
横澤 彪	バラエティプロデューサー
吉田 直哉	ドキュメンタリー ドラマプロデューサー
和田 勉	ドラマ演出家

（ほか 全 210 名（2022 年 10 月現在））

■ 一般社団法人 放送人の会

「放送人の会」は、NHK、民間放送、プロダクションなどの枠を超えて、番組制作に携わっている人・携わっていた人、放送メディアおよび放送文化に強い関心をもつ人々が、個人として参加している団体です。

放送について考え、放送や放送関連分野に関するさまざまな問題について情報を交換し、発信しています。

「放送人」とは以下を表しています。

・放送番組、放送情報、放送広告の企画・制作・編集、その他放送関連事業全般に携わっている人、携わったことのある人
 ・放送番組、放送情報、放送広告など広く放送文化についての批評・評論・研究活動をしている人、あるいは放送産業・放送技術・放送制度などについての研究活動を行っている人

■設立年月：1997年12月（2003年4月 一般社団法人化）

■会長：今野 勉

■会員数：221人(2020.10.1.現在)

■ホームページ：<http://www.hosojin.jp/index.html>

■ 放送人の会 のメッセージ

「放送人の証言」デジタルバージョンの作成にあたって

「放送は一つの全体である」

放送は特別なジャンルに特化しない。

様々な分野が混然として入り交じり、制作、報道、技術、営業、などなど多様な職種が複雑に入り組み相互に刺激あって成立している。そこに流れる情報はストックもあればフローもある。思わぬ相乗効果もあれば、知らぬ間に消えていく様式、方法、人々がいる。こうした混然とした全体は、論理的あるいは統計的記録ではその全貌をとらえることは出来ない。

「放送は時代と同時進行する」

放送という分野は、歴史的な事象を後から体系的に記録するように編年体の歴史を編み上げることは出来ない。同時進行する時代、状況の中で、無意識的な体験と意識的挑戦が雑然と記憶される。その記憶を対象化し歴史として語ることが、放送を「歴史」にする。

この「放送」という複雑にして目つ有機的に入り組んだ存在を、時間の流れの中から取り出すことにより、「放送」という他の文化領域とは明らかに異なる「何か」が見える。

いま、私たちは「放送人の証言」を編集しつつ、「放送とは何であったか、そして何であろうとするのか」という問いに向き合っている。

「放送人の証言」は、放送の創成期からデジタル・インターネットの時代に至る現在まで、放送の魅力に魅せられた、あるいは悪戦苦闘した人たちのオーラルヒストリーである。知られざる体験も珍談奇談もそこにはある。

200人を超える証言映像が私たちの手元にある。

記録として貴重であり、聞いて読んで面白い。歴史を形成する「証言」の編纂に携わることは「放送人」である私たちの誇りである。

今回 iU という良きパートナーを得て、「放送人の証言」を広く世に問うことができるのは、凄く嬉しい。ワクワクする。デジタルによる記録保存とその利活用により、文化としての「放送」の可能性を改めて世に問うことが可能になる。

2025年は放送100年にあたる。先人の苦闘を思い返しつつ、今私たちにできることは何かを考えたい。

一般社団法人 放送人の会
 会長 今野 勉

■ iU 学長のメッセージ

世界的にも特殊なほど発達した日本の放送文化。

それを築いた黎明期からの証言は国民の文化資産であり産業資産でもある。

「放送人」という誇りあるコミュニティの価値を後世に残し、共有し、さまざまな利活用に供する。

教育研究機関としてこの公益に貢献できるのは光栄である。

放送の価値を再発見し、新たなメディアの価値を生み出す。

先人の挑戦を学び、新たな文化・産業の創生を促す。

本プロジェクトが次世代への礎となることを期待する。

iU 学長 中村伊知哉

*iU B Lab について

Beyond, Borderless, Breakthroughの頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばあちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<https://www.blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：639名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp